

令和7年11月12日

日本旅行業協会 高橋広行 様

環境省 環境再生グループ
(環境再生・資源循環局)

「福島、その先の環境へ。」現地視察研修会の御案内

拝啓、時下ますますの御清祥のこととお慶び申し上げます。

東京電力福島第一原子力発電所事故から14年が経過し、環境再生が進んでいる一方で、除染等に伴って生じた大量の土壌が福島県内の中間貯蔵施設に保管されています。この土壌は、法律で2045年までに福島県外で最終処分することとされており、環境省では福島の実地環境再生の今と、これからの取組、そして県外最終処分に向けた取組の必要性・安全性等に対する全国的な理解の醸成に取り組んでおります。

今般、旅行代理店の法人営業担当者（主に教育旅行担当）の皆様が営業活動で活用いただけるよう「環境再生」のみならず、各施設の受入れ体制等幅広く現状を知っていただくための現地研修会を実施することといたしました。次世代の社会を築く担い手となる世代の方々にとっての学び、考える題材として非常に意義深いものと考えており、旅行代理店の皆様にとっても、本件に係る教育的効果の高さ、プログラムの意義について御理解していただくことにより、福島への誘客の機会増進にもつながることを願っております。

つきましては、以下の要領にて実施いたしますので、積極的な御参加をお願いいたします。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

敬具

記

<ツアー概要>

日程 2026年1月29日（木）～30日（金）1泊2日

宿泊先 ホテル蓬人館（富岡町）予定

訪問先（予定）<福島浜通りエリア>

東日本大震災・原子力災害伝承館/双葉町復興状況視察（新規開業ホテル説明含む）

/特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま/中間貯蔵事業情報センター・中間貯蔵施設視察

/Jービレッジ視察等

※上記視察の他に、環境省職員からの説明・質疑/参加者同士での車座・意見交換（プラン検討・課題提起等）を予定しています。

※環境省職員も同行いたします。

以上